平 成 ２９ 年 度

評　議　員　会

議　案　書

日時：平成 29 年 5 月 20 日(土)

午前 11 時～午後 1 時

場所：福岡県立福岡工業高等学校会議室

一般財団法人　福岡工業工友会

評　議　員　会　次　第

1.　開会のことば

2.　会長挨拶

3.　学校長挨拶

4.　評議員会成立宣言

5.　議長選出

6.　議事録署名人選出

7.　議事

第 1 号議案　　平成 28 年度事業（会務）報告

第 2 号議案　　平成 28 年度収支計算報告

・貸借対照表

・財産目録

・正味財産増減計算書

・平成 28 年度収支計算書

・平成 28 年度公益目的支出計画実施報告書

・平成 28 年度工友会費納入状況

第 3 号議案　　平成 28 年度会計監査報告

第 4 号議案　　評議員の選任（案）

第 5 号議案　　理事及び監事の選任（案）

第 6 号議案　　平成 29 年度活動方針（案）

第 7 号議案　　定款の変更（案）

第 8 号議案　　正味財産増減予算書（案）

8.　報告事項

9.　議長解任

10.　閉会のことば

第１号議案 平成 28 年度事業報告

１．主な活動

(1) 在校生進路指導研修における懇談会への出席（各科代表）

(2) 卒業生に対する工友会入会式及び記念品贈呈

(3) 奨学金の支給による就学助成（13 名）

(4) 教育助成

平成 28 年度実績

・７月）電気工学科「第１６回九州地区高等学校工業系生徒研究成果発表大会」
・７月）情報工学科「第３５回全国高等学校ＩＴ･簿記選手権大会　九州沖縄ブロック出場」
・８月）電子工学科「小型人工衛星製作協力校合同合宿」
・１２月）環境化学科、都市工学科、「平成２８年度校内生徒研究発表会　優秀賞受賞チーム」
・１月）電子工学科「平成２８年度パテントコンテスト出場」
・３月）各学科「卒業式制作に係る材料費補助」

(5) 生徒会活動、学校行事に対する助成

(6) 課題研究活動に使用する材料費に助成

・電気工学科「電気現象と数学的解析の可逆的整合性を可視化する装置の研究と開発」
・都市工学科「人が渡れる（段ボールアーチ橋）の研究と製作」
・情報工学科「サーバを活用したシステムの開発と運用」

(7) 生徒部活動に対する助成

吹奏楽楽器　ユーフォニウム他７台　トレーニング機器　アブドミナル&バック他５の寄贈

平成 28 年度実績

全国大会、九州大会出場/水球部・卓球部・陸上部・マイコンカーラリー同好会
ロボット競技同好会・電子技術修理同好会

２．会務実績

(1) 評議員会　平成 28 年　5 月　28 日（土）　福岡工業高等学校大会議室

(2) 理事会

第 1 回	平成 28 年　4 月 25 日（月）	歴史資料館
第 2 回	平成 28 年　6 月 27 日（月）	歴史資料館
第 3 回	平成 28 年　9 月　5 日（月）	歴史資料館
第 4 回	平成 28 年 12 月　5 日（月）	歴史資料館
第 5 回	平成 29 年　3 月　6 日（月）	歴史資料館

(3) 会計監査　平成 29 年　4 月 19 日（水）　歴史資料館

(4) 各委員会

総務委員会	平成 28 年 8 月　8 日（月）	歴史資料館
	平成 28 年　9 月 26 日（月）	歴史資料館
	平成 28 年 11 月 18 日（金）	歴史資料館
財務委員会	平成 28 年 8 月　3 日（水）	歴史資料館
	平成 28 年 10 月 19 日（水）	歴史資料館
	平成 29 年　1 月 25 日（水）	歴史資料館
	平成 29 年　2 月 27 日（月）	歴史資料館
広報委員会	平成 28 年　5 月 25 日（水）	歴史資料館
	平成 28 年　7 月 25 日（月）	歴史資料館

平成 28 年　8 月 17 日（水）　　歴史資料館
平成 28 年　 9 月 14 日（水）　　歴史資料館
平成 28 年 10 月　12 日（水）　　歴史資料館
平成 28 年 11 月　14 日（月）　　歴史資料館

（5）その他

工友会会報発行　第 74 号　平成 29 年 1 月 1 日付
新会員入会式（全日制）　平成 29 年 2 月 28 日（火）
新会員入会式（定時制）　平成 29 年 3 月　2 日（木）

第２号議案　平成２８年度収支決算報告

（1）貸借対照表　（平成２８年度収支計算書参照）
（2）財産目録　（平成２８年度収支計算書参照）
（3）正味財産増減計算書　（平成２８年度収支計算書参照）
（4）収支計算書　（平成２８年度収支計算書参照）
（5）公益目的支出計画実施報告書（平成２８年度）
（6）工友会費納入状況　（平成２８年度）

第３号議案　平成２８年度会計監査報告

別添のとおり

第４号議案　評議員の選任（交代）（案）

別紙表参照

・建築　退任　S60 卒　内田 敏生 氏（理事就任のため）
　　新任　S51 卒　亀 清道 氏
・機械　退任　H 7 卒　手塚 秀作 氏（理事就任のため）
　　新任　H16 卒　船越 靖貴 氏
・金属　退任　S47 卒　東郷 政基 氏（事務局長就任のため）
　　新任　H20 卒　高野 沙也香 氏
・工化　退任　S52 卒　高田 敏道 氏（理事就任のため）
　　新任　S44 卒　岩本 俊則 氏
・定時電気　退任　S43 卒　下薗 正博 氏（理事就任のため）
　定時機械　新任　S53 卒　井手口 栄裕 氏

学校関係

・副校長　退任　矢野 雅伸 氏（異動のため）
　　新任　熊井 賢司 氏（教頭から副校長へ昇任）
・教頭　新任　井上 毅 氏
・事務長　退任　山下 裕二 氏（異動のため）
　　新任　森部 一文 氏
・教師　退任　建築科　松崎 秀次郎 氏（交代）
　　新任　情報工学科　本田 隆生 氏

第５号議案　理事及び監事の選任（案）

別紙資料参照

第６号議案　平成２９年度活動方針（案）

１．はじめに

昨年熊本・大分を襲った大地震の復興は未だ途上にあり、被災を受けられた方々に一日も早く心安らぐ日を迎えられることをお祈りいたします。

さて、米国ではトランプ新大統領がアメリカファーストの掛け声のもと、ＴＰＰの離脱等経済政策の転換を図ろうとしており、そのことで我が国の経済がどのような影響を受けるのか、見通しが不透明な状況です。しかしどのような情勢にあっても、付加価値の高いモノづくりへの認識があれば自立に不安はなく、ゆえに創造力豊かな技術者の育成が今後更に求められていくものと思われます。

その中にあって母校が果たす「自立と創造」の役割はますます重要なものとなるでしょう。

一方で、工友会の現状は、昨今の会員による会費納入額の減少に象徴されるように、卒業生の工友会全般に対する認識、理解は年々薄まってきているのではないかと思われます。工友会そのものを知らないという声も聞かれ、将来的な危機感を覚えるところであります

従来は代表理事（会長）、業務執行理事（副会長）３名及び事務局長の５名の執行部が中心となり計画の検討立案を行い、各副会長を委員長とする三つの委員会で具体的な活動を行ってきました。

その成果は着実に現れていますが、更に将来を見据えた活動が求められます。

このような状況に鑑み、母校への教育支援活動を継続し、より工友会活動の充実を図るため、会員相互のさらなる結束を目指し、理事会の体制を変更いたします。

新体制の基本は「行動する理事会」です。

これからの執行部は、１２０年の伝統の上に立ちつつ、新しい世代に寄り添った活動と情報の発信を行わなければなりません。そのためにはこれまで以上に多様な知恵の集結と、チームワークが必要となります。

よって、新しい執行部を会長、副会長４名及び事務局長並びに理事全員によるものに体制を変更いたします。

新執行部全員で工友会の意義を周知することにより、多くの卒業生諸君が工友会を愛し理解し活動へ参画するよう導いていくことを目的とします。

その手段のひとつとして、学校との関係をより充実するため新たに業務部を設けます。

また、一昨年発足した青年部、女性部をひとつにまとめ、より若年層に身近なものとなるよう男女及び学科を横断する組織とし、その代表３名を新たに理事に加えて青年部とします。

具体的な体制は添付図のとおりです。

もとよりこの体制が完璧なものとは考えておりません。運営を重ねながらより良い組織になるよう収斂していく所存です。

母校の卒業生が社会を支える一員としてますます活躍でき、また胸を張って工友会の一員であることに誇りを持っていただけるよう、執行部全員が行動をいたします。

評議員各位におかれましても、各科総会や個別の同窓会の機会において、また同じ職域の卒業生に声をかけていただくなどして、工友会がより健全で、堅固なものとなるようご協力をお願いいたします。

２．総務部

まずは、平成２８年度開催しました、母校１２０周年記念事業にご支援を賜りましたことに感謝申し上げます。併せて準備３委員会及び実行委員会に多大なるご尽力をいただいたことで記念事業を盛況に執り行う事ができたものであると感じている次第です。

さて、本校は明治２９年に創立以来、校訓『質実剛健　自立創造』を理念とし、多くの『ものづくり・産業技術者』を日本の社会へ輩出してまいりました。
福岡工業工友会の基本理念である『会員相互の更なる結束と母校への支援の継続を目指して』を再び立ち返ってみたいと考えます。

本年度は工友会定款改定を行うと共に新制業務執行理事として、総務部、財務部、広報部、業務部、青年部と相互に情報交換・情報共有しながら、工友会・学校関係者・ＰＴＡとの連携を図り、工友会事業を計画し実行いたします。
また、在校生との対話も大切な事業だと考えます。
地場産業は自動車、建設、電力、サービス等々、多くの大中小企業の『元気力』で成長しております。在校生の社会共存性を見守る観点から優良な地場企業と連携を図り、工場見学や会社訪問等の開催を検討する等、地場企業に就職しているＯＢ・ＯＧとの対話も必要と考えます。

また、可能であれば在校生に工友会理事会や評議委員会に立会して貰い、工友会の実体を感じて頂く事も将来の会を支えて頂く候補者を育むものとして必要だと考えます。
当然ながら学校関係者及びＰＴＡとの連携・協議が必要であると考えております。
工友会も日本社会の問題と同様に高齢化が進んでおります。
青年部のこれからの活躍はＯＢ・ＯＧとして、大変期待するものです。
平成卒以降のＯＢ・ＯＧが魅力を感じる団体として変革するためにも、青年部とより一層の連携をとりつつ様々な意見を取り入れ、活発な活動を図らなければなりません。
秩序を重んじ、仲良しクラブ的な枠組みを優先せずに活発に意見交換するとともに意見集約を行い、これからの工友会の方向性を確実なものとします。

３．財務部

昨年度の決算では、2,147,482 円の赤字となりましたが、これには、熊本震災への義援金 2 百万円を含んでおりますので、実質は収支共に相応の結果でした。又、会員会費納入については、昨年より 458,000 円増となり、納入件数では 74 件も増えております。これも会員皆様の周年事業への関心と母校への思いがひとつとなった結果だと考えております。

今年度は、新体制への変更と、新しい事業（青年部会等）の活動、又、会報発行費の抑制等と転換の時期となります。財務部としましては諸事業や諸活動を支える為に、収入確保の施策の検討及び実施と健全な財務体質の構築、収入・予算の検討及び決算を含め、計数面全般の統括を行います。

基盤となる会費納入に関しましては、今年度予算案に相応する様に、各科の目標額にとらわれる事無く、工友会全体としてとらえて、昨年の 1,105 件の納入件数が年々増えて行く様に、他の部とも連携・協力し会員の皆様に周知して行きたいと考えております。又、新たな収入の確保（広告等）と支出とのバランスをとりながら事業の執行を図ります。

会費納入方法に関しても、従来の方法以外にＩＴ化に伴う新しい方法の研究を行います。

公益目的事業の教育活動助成費等や５年後１０年後の周年事業を円滑に進められるよう、予算確保を他の部とともに検討し、計画性のある内容となるよう学校側との協議等も行いたいと考えております。

４．広報部

1. インターネット広報の充実を図ります

1-1　ホームページ「福工工友会」

工友会ホームページは,2013年10月からリニューアル運用を開始して3年半程度を経過しています。工友会活動状況について可能な限り詳細な最新情報を提示できるように適正な維持管理に努めまるとともに，各会総会等においてアピールを行い，閲覧者の増加に努めます。

1-2　フェイスブック「福岡県立福岡工業高等学校工友会」

フェイスブックは2015年6月から運用を開始しました。掲載内容は，ホームページ更新を周知することと，行事計画の速報，会議議事結果の概要などの周知を目的として運用しています。

1-3　LINE@　「ID: xin7317p 名称　福岡工業工友会」

1年間運用して利用者はほとんどいないようですが，もうしばらく様子を見ます。

1-4　ホームページの企業リンクによる新たな寄付の確保

広告料は寄付金として，ホームページを持っている企業が企業名の掲載とホームページへのリンクのみであれば，年間１口１万円以上。ホームページに企業のページを設ける場合は，年間１口３万円以上と設定しています。今年度は，この制度のＰＲを展開したいと考えております。

2.　在校生への工友会の紹介を継続します。

平成２８年度の工友会入会式において青年部会・女性部会の代表者が参列し，工友会の説明を行い，工友会紹介のリーフレットを配布しております。在校生へのPRについては毎年継続して行きたいと考えております。

3.　卒業生の本校在籍先生との連携を図ります。

卒業生である先生方が増加してきており，直接の後輩となる生徒に対して，工友会をPRして頂けるように，工友会に対する先生方からの意見・希望等を収集して反映させる機会を設けたいと考えております。

4.　工友会報の発刊方法を変更します。

今年の会報でアンケートをしましたが,回答状況は1200名程度で郵送希望者は半数となっています。夏ごろまでに発送方針を決定したいと考えております。

また，幅広いPRのために在校生の他，卒業生企業等への配布を検討致します。

会報は希望者には郵送致しますが，ホームページ主体の広報活動に変更していくことになります。

５．業務部

今年度より新しくスタートする業務部です。

工友会行事がスムーズに楽しい会になるように業務部員で協力して進めて行きます。

PTA、学校職員の方々と連携し母校の発展、OBにしか出来ない応援の為に活動します。

手さぐりでのスタートになりますが会員の方々のご協力をよろしくお願いします。

６．青年部

1. 青年部会体制整備

2016年に正式に発足しました、青年部会と女性部会ですが、今後密着した在校生へのアピールを考慮し、在校生により年齢の近いメンバーで組織を構築しようとの意見から、平成元年卒以降の男性メンバーを男子部会、女性メンバーを女子部会、その二つの部会をまとめ青年部会とします。

2. 在校生への工友会の周知

在校生はもちろんのこと、特に平成の卒業生の多くに、工友会の存在を周知できておりません。

また、存在は知っていても、工友会の母校支援の内容や、いつ・どこで・どのような活動をしているかを知らないなど、関心の薄い方がほとんどです。

よって、在学中の生徒と触れ合える場に積極的参加をさせて頂き、青年部会の活動への参加を促すことで工友会の存在を周知し理解を深めて頂きます。

そのために以下の事項を実行します。

・工友会入会式でのアピール

・３年生の合宿研修時の講話

・記念事業時等の講話

3. フェイスブックやLINEを活用しての広報活動

SNSを活用し、青年部会を始めとした工友会活動のアピールを促進します。

まだまだ認知は少ないですが、スタート時より徐々に登録数もアップしてきています。

4. 定期的な懇親会

青年部会主催の懇親会を定期的に開催することにより横のつながりだけでなく、縦のつながりや科を越えた交流を厚くしていきます。

女性を中心として男性OBにも子供が小さくて行事には参加しづらいという方も多くいると思いますが、安心して子供同伴で工友会のイベントにも参加できるよう託児の場を設けるなどの検討をします。

5. 女子部会の活動

①ママたちが参加しやすい場を作る

ママ友を作る機会を設け、ママ友同士で子供を連れて工友会のイベントにも参加しやすくします。

②工友会に入会したばかりの女性メンバーで交流会を開く

工友会に関心を持ってもらうためには最初が重要だと思います。卒業式前の入会式で工友会の説明はしているものの話し手と聞き手の一方的な部分もあるので、顔を合わせて話をすることで工友会の活動に理解を深めていただきます。さらに就職したばかりの人たちの相談を受けられる体制を作り、サポートを行います。

6. その他の中長期的な活動計画案（2017年度以降も含む）

・卒業生の活躍を応援

・入学時に工友会のホームページアドレスやフェイスブックの紹介

・卒業生が就職した企業の異業種交流会やUターン就活の相談窓口の開設

第７号議案　定款の変更（案）

別紙資料参照

第６号議案　正味財産増減予算書（案）

別紙資料参照

一般財団法人福岡工業工友会における公益目的事業　（案）

【継続事業】

	費目	目的等	H29 年度予算
①	教育助成費	高校の教育活動の発展向上に寄与するため、生徒が学校生活を行う上で必要な活動及び環境整備についての助成を行うもの。	200,000
②	就学助成費	高校教育の発展向上に寄与するため、成績・人物等に優れ経済的に支援が必要な生徒に対し、「奨学金」の支給を行うもの。	1,560,000
③	課外活動助成費	高校教育の発展向上に寄与するためのもの。　生徒の部活動に関する助成を行うもので九州大会以上に出場する部・学科の遠征費用の一部を助成するもの。	700,000
④	海外研修助成費	研修生である生徒の負担金を軽減し、広く世界に通じる能力を身に着ける意欲のあるものが、海外研修に参加しやすくするために、研修参加費用の半額を助成するもの	200,000
⑤	課題活動研究助成費	各学科の生徒が課題研究を行う際に使用する材料の費用の助成を行うもの	400,000
⑥	生徒会助成費	体育祭等の学校行事および生徒会広報誌発行に対する助成	500,000
⑦	教育活動助成費	各学科の実習等に必要な機材等を購入するもの	1,000,000
⑨	就職活動助成費	在校生の就職に係るコンサルティングで、本校卒業生のいる企業への訪問に係る旅費が発生した場合に、その費用の一部を助成するもの。	7,000
	合　計		4,567,000

【その他の事業】

	費目	目的等	H29 年度予算
①	広報誌（会報）の発行	「福工会報」を年 1 回発刊広告協賛を取ることで、発刊に係る費用の軽減と会員の就職活動の情報源ともなっている。	1,200,000
②	新会員助成（記念品贈呈）	年 1 回新会員（卒業生）に対し、「工友会入会式」にて記念品を贈呈	260,000
③	地方支部助成	「各科支部」、「地方支部」に対し、総会開催に係る費用を助成	450,000
④	就職斡旋活動助成	会員の就職斡旋に係る費用の一部を助成	3,000
	合　計		1,913,000